

【ユニット】 導入クリニカル・クラークシップ1-3

【ユニットディレクター】

UD：石橋 敬一郎（医学教育学）

UD 補佐：森 茂久（医学教育学） 辻 美隆（医学教育センター） 山田 泰子（医学教育センター）
川村 勇樹（教養教育） 杉山 智江（医学教育センター） 大西 京子（医学教育センター）
齋藤 恵（医学教育センター） 柴崎 智美（医学教育学） 松田 晃（医学教育学）
金田 光平（医学教育センター） 中山 英人（麻酔科） 黒崎 亮（国セ 婦人科腫瘍科）
作山 洋貴（医学教育センター）

【一般的な目標】

次年度に行われる臨床実習を円滑に行い、その成果をすぐれた医療人（臨床医）として実践できるようになるために、医学生として備えておくべき基本的臨床能力を習得する。

1. 基本的診療技能実習：共用試験 OSCE にむけた「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学修・評価項目」（公益社団法人共用試験実施評価機構編）に記された技能・態度を習得する。
11. 問題演習実習（E-learning）：症例を通して、医療の実践において問題解決の筋道を考える力である臨床推論能力を養う。

【具体的な目標】

1. 基本的診療技能実習
 1. 患者さんとの対応において留意すべき点を述べることができる。
 2. 身体診察にあたって配慮すべき事柄を述べることができる。
 3. 参加型臨床実習で通用するバイタルサインを測定することができる。
 4. 胸部（心臓、肺）の診察を行うことができる。
 5. 腹部の診察を行うことができる。
 6. 神経系の診察を行うことができる。
 7. 12誘導心電図を装着し、記録できる。
 8. Basic Life Support（心肺蘇生法）、人工呼吸法を実施できる。
11. 問題演習実習（E-learning）
 1. 典型的な症例の主訴や症候から病態生理や疾患頻度別に疾患を列挙することができる。
 2. 典型的な症例について問題点を抽出・整理することができる。
 3. 整理した問題点全体を矛盾無く説明可能な病態生理を推測することができる。
 4. 診断仮説を検証するために医療面接、身体診察、検査に基づいて情報を収集することができる。
 5. 推測した病態に基づいて疾患名を推測することができる。

【学習方法】

1. 基本的診療技能実習
 1. 小グループを編成して、実習を行う。
 2. 身体診察法：バイタルサイン測定、胸部（心臓、肺）診察、腹部診察、神経系診察を順次ローテート実習する。
 3. 12誘導心電図、Basic Life Support、人工呼吸法を順次ローテート実習する。
11. 問題演習実習（E-learning）
 1. 主要症候に基づき、ゼミ室、講堂、PC室でE-learning、PBL、TBLを行う。
質問等は、実習時間内に受け付ける。

【評価方法】

【本ユニットは実習扱いであり、90%以上の出席が必要である。】

本ユニットは良医になることを目指して、講義や実習に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

本ユニットでは全ての課題（提出物）の提出を確認した上で評価対象とする。具体的には、学務課や実習担当者に提出するレポート、実習成果物等だけでなく、WebClass に登録する日々の振り返り（ログブック）、ルーブリック評価、レポート、ポストアンケート、ピア評価等を含むすべての課題である。

出席、実習態度、レポートの点数を勘案して100点満点で評価する。ただし、出席90%以上のものを評価対象とし、出席90%に達しないものは評価対象としない。

また、それぞれの課題毎に決められた提出期限内に未提出の場合には、評価点を減点する。

やむを得ない理由で実習を欠席した場合には、学年末（2月下旬-3月上旬）に補講を行うことがある。

【教科書】

- ◆ 診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度に関する学修・評価項目 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構
- ◆ 身体診察と基本手技 基礎臨床技能シリーズ5, 倉本 秋, メジカルビュー社
- ◆ 内科診断学第3版 (医学書院)
- ◆ 内科学第11版 (朝倉書店)
- ◆ 診療ができる vol.1 身体診察(第1版), メディックメディア社

【参考書】

- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床技能シリーズ4, 編集:後藤英司, メジカルビュー社
- ◆ 症例からたどる鑑別診断 ロジカルシンキング, 編集:後藤英司他, メジカルビュー社
- ◆ 考える技術 臨床的思考を分析する, スコット・スターン他著, 日経BP出版センター
- ◆ 聞く技術 答えは患者の中にある第2版, マーク・ヘンダーソン他著, 日経BPセンター

【授業予定表】

| | 月日 | 曜日 | 時限 | 講義名 | 担当者 |
|-------------------|--------|-----|-----|-----------------------------|------------------|
| Pre-CC 1-3 OR1 | 09月04日 | (水) | 1~6 | オリエンテーション | UD, UD補佐, その他 |
| Pre-CC 1-3 01 | 09月11日 | (水) | 1~6 | 基本的診療技能実習/問題演習 (E-learning) | UD, UD補佐, その他 |
| Pre-CC 1-3 02 | 09月18日 | (水) | 1~6 | 基本的診療技能実習/問題演習 (E-learning) | UD, UD補佐, その他 |
| Pre-CC 1-3 03 | 09月25日 | (水) | 1~6 | 基本的診療技能実習/問題演習 (E-learning) | UD, UD補佐, その他 |
| Pre-CC 1-3 04 | 10月02日 | (水) | 1~6 | 基本的診療技能実習/問題演習 (E-learning) | UD, UD補佐, その他 |
| Pre-CC 1-3 05 | 10月09日 | (水) | 1~6 | 基本的診療技能実習/問題演習 (E-learning) | UD, UD補佐, その他 |
| Pre-CC 1-3 06 | 10月16日 | (水) | 1~6 | 基本的診療技能実習/問題演習 (E-learning) | UD, UD補佐, その他 |

【備考】

それぞれの実習の事前学習・課題は、年度初めまたは実習前に実施するオリエンテーションで詳細を説明する。基本的診療技能実習では、教員がその都度フィードバックを行う。

キーワード：基本的診療技能、問題演習。

「UD, UD 補佐, その他」と記載してある時間は、以下の者が担当している。

石橋（医学教育学）、森（医学教育学）、辻（医学教育学）、松田（医学教育学）、山田（医学教育 C）、柴崎（医学教育学）、川村（教養教育）、金田（医学教育 C）、有田（医学教育 C）、杉山（医学教育 C）、大西（医学教育 C）、齋藤（医学教育 C）、柴崎（由）（医学教育 C）、作山（医学教育 C）、その他